

東芝換気扇取付説明書（ダクト用）

台所・居間・事務所・店舗用



形名 **DVF-18MRKQ8, 18MRKS8**

日本国内専用品
Use only in Japan



- この換気扇の注意事項をよく知っていただき、正しく取り付けていただくためにこの取付説明書をよくお読みください。
- 本説明書は換気扇の取り付けと関連工事（建設工事）である大工工事、電気工事、配管工事などを区別して説明しています。
建設工事は関連する法令、規定に従って法的有資格者による工事が必要となります。
流通業者（販売店）を通して換気扇の取り付けを行う場合は、建設工事部分と区別して行ってください。
- この取付説明書は設置完了後、お客様にお渡しください。
- 別売部品をご利用ください。（詳しくはカタログをごらんください）

安全上のご注意

- 取付の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく取り付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

表 示	表示の意味
 警告	誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると人が傷害を負ったり、* 物的損害の発生が想定される内容を示します。

図記号の意味 * 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。








表 示	図記号の意味
 改造禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「改造禁止」を示します。
 アースを接続する	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。 左図の場合は「アースを接続する」を示します。

- 取付設置完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。また、この取付説明書は取扱説明書と共にお客様で保管いただくように依頼してください。

警告

 改造禁止	改造はしない 火災・感電・けがの原因になります。
 分解・修理禁止	修理技術者以外の人は分解、修理（※）をしない 火災・感電・けがの原因になります。 ※修理はお買上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご連絡ください。
 アースを接続する	アースは確実に取り付ける 故障や漏電したとき、火災・感電の原因になります。アースの取付は販売店や電気工事店を通じ、電気工事士へ依頼してください。
 接触禁止	メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属性ダクトが貫通する場合、金属性ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう取り付ける 漏電した場合、火災の原因になります。
 取付禁止	内釜式風呂を設置した住宅には取り付けない 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。
 交流 100V 使用	電源は交流 100V を使う 交流 100V 以外の電源を使うと、火災・感電の原因になります。
 給気を確実に	煙突排気の燃焼器具がある住宅に据えつけるときは、十分な大きな空気取入口を別に付ける 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因になります。
 ポリ袋廃棄	包装用ポリ袋は幼児の手の届かない所に廃棄または保管する 頭からかぶるなどすると、口や鼻を塞ぎ、窒息する原因になります。
 窓を開ける	ガス漏れのときは、窓を開けて換気する 電源スイッチを入れたり切ったりすると、ガス爆発の原因になります。
 水かけ禁止	水や洗剤などをかけたり、吹きつけたりしない 漏電により、火災・感電の原因になります。

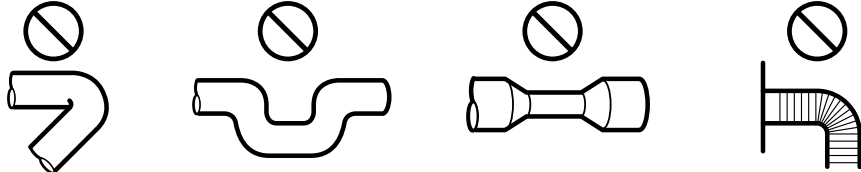
注意

 取付禁止	浴室内には壁スイッチを取り付けない 火災・感電の原因になります。
 炎禁止	炎が当たる恐れのある場所には取り付けない 火災の原因になります。
 確実に取りつける	強度のある場所に確実に取り付ける 落下により、けがをする原因になります。
 確実に取りつける	本体カバーや部品は確実に取り付ける 落下により、けがをする原因になります。
 取付注意	電気工事は必ず電気工事店に依頼する 電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う 電源電線の接続は機械的な方法で確実に接続する 火災の原因になります。
 取付禁止	浴室など湿気の多いところには取り付けない 火災・感電の原因になります。
 手袋着用	製品の取り付けのときは、手袋を着用する 手袋を着用しないと、けがの原因になります。

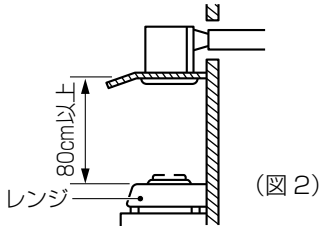
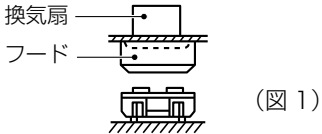
取付上のお願い

- 次のような場所には取り付けないでください。
 1. ガス沸湯器の真上(横方向へ 50cm 以上離してください)
 2. 浴室など湿気の多い場所
 3. 腐蝕性ガスの発生する場所
- 点検口を必ず設けてください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。

- (1) 極端な曲げ (2) 多数回の曲げ (3) 接続ダクト径を極端に小さくする (4) 排気口のすぐ近くでの曲げ

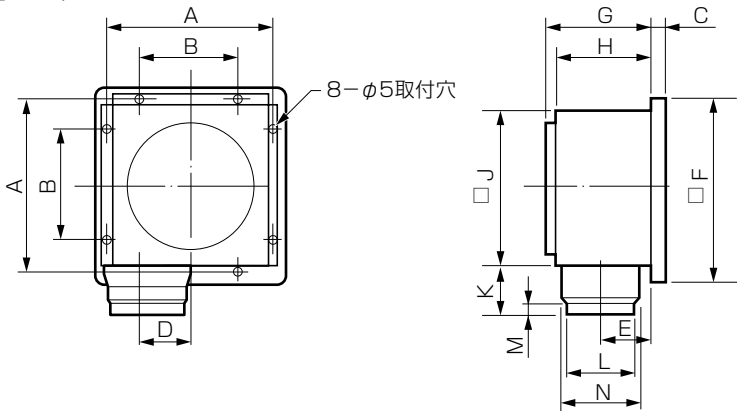


- ダクトと排気口をテクスねじなどで止めないでください。
シャッターが開かなくなる恐れがあります。
- 地域によってはジャバラが使えないことがあります。
（詳細は行政官庁または消防署にお問い合わせください。）
- 共同ダクトへ排気するときには、建築基準法施行令により防火の役割を果たすものを使用することが義務づけられていますので、2m の鋼板立上がりダクトを取り付けるか、システム部材の防火ダンパーを取り付けてください。
- 効率よく排気させるため排気ダクトと同じ大きさの空気の入入口を部屋の反対位置に設けてください。
- この換気扇をレンジ用として使用する場合は
 - ①換気扇の周囲をレンジと同寸、またはそれ以上の幅のフードを取り付けてご使用ください。（図 1）
 - ②取り付け高さはレンジの真上 80 cm 以上にしてください。高すぎると煙その他の捕集効果が低下します。また低すぎると台所仕事のさまたげになったり高熱による故障の原因にもなります。（図 2）
 - ③料理の種類によっては極端に多くの煙が発生し捕集しきれないことがあります。お台所は全体換気のために、他の換気扇と併用していただければ、よりすぐれた換気ができます。
 - ④レンジの真上に可燃物がある場合、消防署の指導を受けることがありますので、取り付けに当っては所轄の消防署などにご相談ください。



製品寸法

（単位 mm）



形 名	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M	N	取付枠内寸	ダクト呼び径
DVF-18MRKQ8	291	180	10	58	128.5	330	239	233	268	101	φ143	20	φ160	□275	φ150
DVF-18MRKS8	291	180	10	64	136	330	239	233	268	80	φ98	20	φ110	□275	φ100

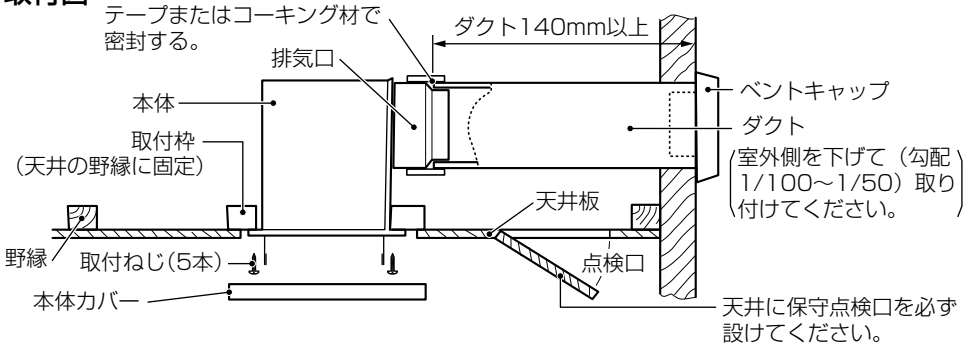
付属品の確認をしてください。

- 取付ねじ5本
（本体固定用・排気口固定用）
- 取付ボルト1本
（本体仮止め用）

取付方法

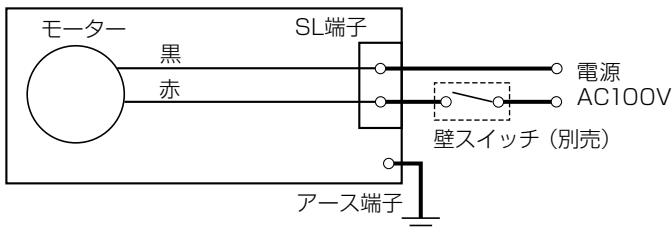
- 取付設置前に本体に異常音、変形などの異常がないか確認してください。
- 取付時、板金部品の端面で手を滑らせるとけがの原因になります。手袋を着用してください。

取付図



配線図

※太線部を結線する

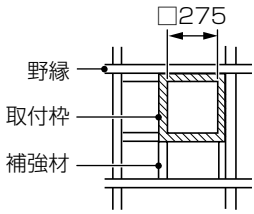


A. 取付枠に取り付けるとき

A-1 取付枠内寸に合わせて取付枠をつくり野縁に固定します。

お願い

製品の質量（4.8kg）に十分耐えるよう取付枠を補強材等で野縁に固定します。

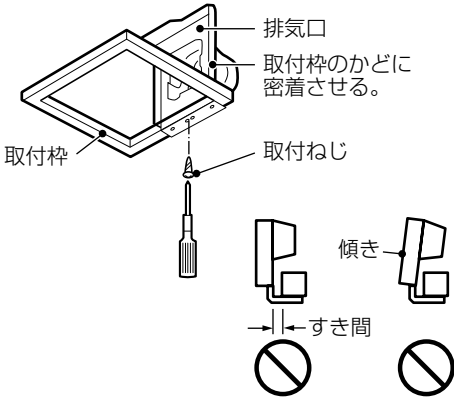


A-2 排気口を固定します。

①排気口を取付枠のかどにすき間や傾きがないように付属の取付ねじ（1本）で固定します。

お願い

設置をするときシャッターを変形させないでください。

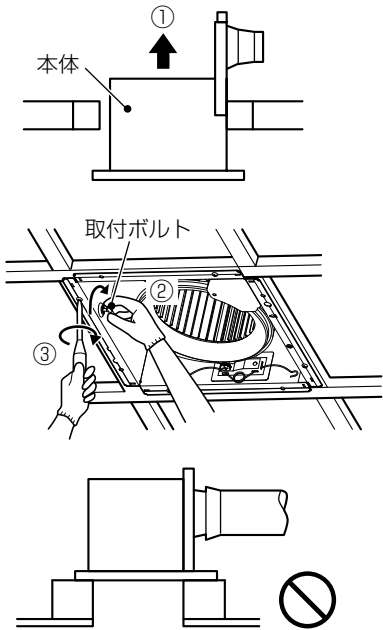


A-3 本体を取付枠に固定します。

①本体を取付枠にはめ込みます。
②付属の取付ボルトで仮固定します。（安全のためそのままにしておいてください）
③付属の取付ねじ（4本）で本体を取付枠に固定します。

お願い

- 本体の固定は排気口に密着させてください。風もれの原因になります。
- 本体を取付枠の上に固定しないでください。

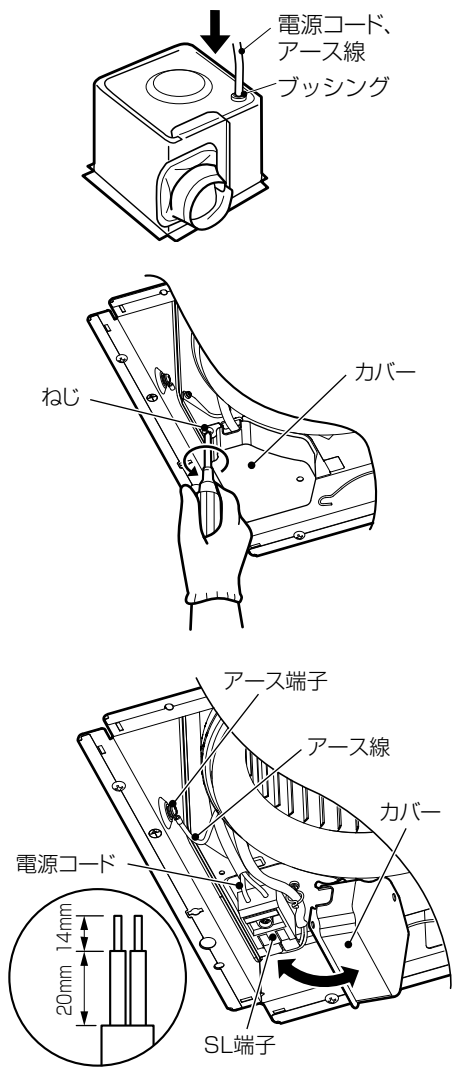


A-4 電源コードとアース線を接続します。

①本体上部のブッシングから電源コード（VVF ϕ 1.6, ϕ 2, 2芯）、アース線を差し込みます。
②カバーのねじをはずし、カバーをあけます。
③SL端子に電源コードの芯線を確実に奥まで強く差し込んでください。（電源被ふくは14mmむいてください）
④カバーを閉じて、ねじを締め付けます。（カバーで線をはさまないようにしてください）
⑤アース端子に、アース線を取り付けます。
⑥電源コードおよびアース線は本体の外側付近で70cm以上たるませてください。

お願い

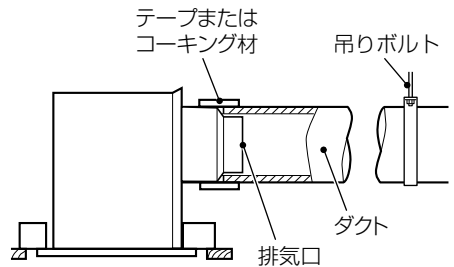
- 配線工事やスイッチの取り付けは必ず電気工事業者（法的有資格者）へ依頼してください。
- スイッチは必ず活線側に取り付けてください。
- カバーは必ず閉じてください。



A-5 排気口にダクトをはめ込みテープまたはコーキング材で密封します。

お願い

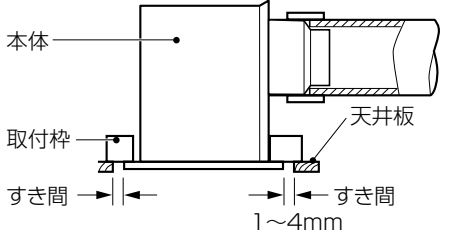
- ダクトは室外側を下げて（勾配 1/100 ~ 1/50）吊りボルトなどで保持してください。
- ダクト配管工事は、管工事業者へ依頼してください。



A-6 天井板を貼り付けます。

お願い

本製品は本体を天井よりはずせる構造としてありますので天井板と本体のフランジとのスキマが1 ~ 4 mmになるようにしてください。

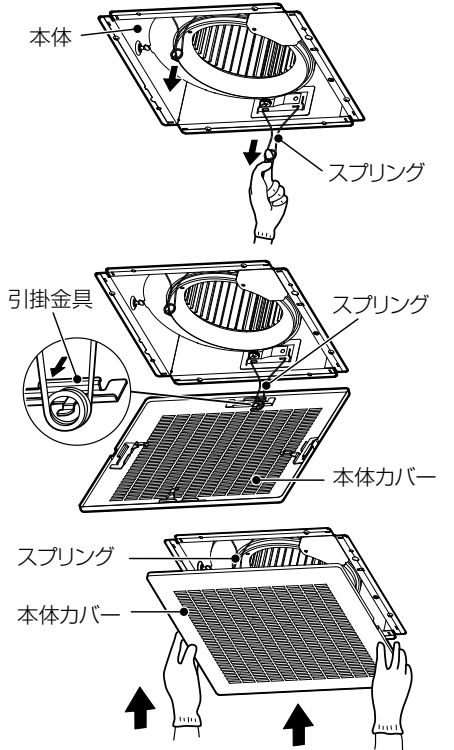


A-7 本体カバーを取り付けます。

①本体からスプリングを止まるまでゆっくりと真下へ引き出します。

②スプリングに引掛金具を引っ掛けます。

③本体カバーをそのままゆっくりと押し上げます。

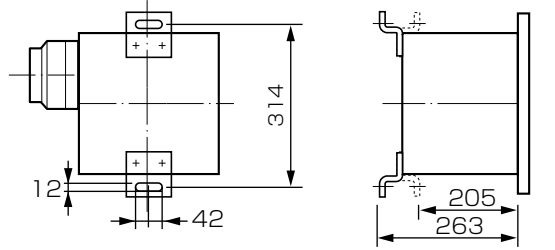


B. 吊下金具を使用するとき

B-1 吊下金具は別売の DV-1T を使用します。

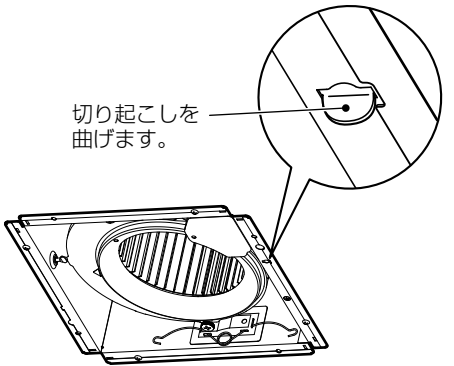
- 吊下金具を使用して取り付けるとき、本体の取りはずしはできません。

B-2 次図を参照してアンカーボルトを埋め込みます。



B-3 排気口を本体に固定します。

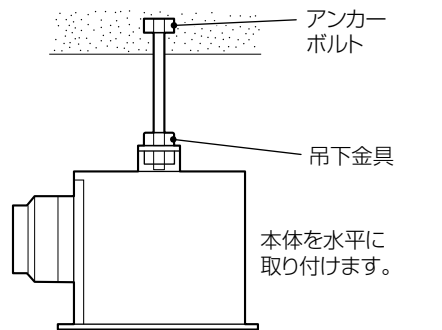
排気口の切り起こしを右図のように、ペンチなどで曲げ、本体に固定してください。



B-4 本体をアンカーボルトに取り付けます。

お願い

- 本体が水平になるように取り付けてください。
- 本体を取付枠の上に固定しないでください。



B-5 以後の取り付けは A - 4・5・6・7 を参照してください。

以上で取り付け完了です

つぎの点検を行ない異常がないか確認してください。

- 製品の取付強度が十分なこと。
- 運転したとき異常音、異常振動がないこと。
- 本体カバーが確実に取り付けられていること。

日本キャリア株式会社